

編集後記

2025年の夏は酷暑でしたが、2026年の冬は暖冬と思いきや例年並みに寒波が襲ってきました。如月になり梅の花を愛でるのも、鍋を味わうのもあと少しです。

今回は7篇の玉稿を賜りました。

生涯教育講座からは2篇。岸先生の血管平滑筋異常収縮シグナル伝達機構と機能性食品との関係についての論文は、EPA や柑橘類由来フラボノイドが予防・治療への応用が期待されて、とても興味深く拝読いたしました。磯部先生の非結核性抗酸菌症の論文は、網羅的包括的な内容の総説で、日常臨床にとっても役立ちそうです。

他の5篇について。荒木先生の論文は胸腔鏡手術における臨床工学士による多職種協働、医療安全、教育システムなどについて論じており、極めて今日的で、小川先生の論文では食欲不振にはパフォーマンス・ステータスや舌圧と関係があり、これらを改善することが重要との指摘でした。加藤先生の百日咳68例の検討では早期のLAMP法による正確な診断と適切な抗菌薬の投与が重要との主張でした。牧野先生の論文では特に女性は80代から急激に心房細動の有病率が上昇し、女性に心原性脳梗塞が多い理由ではないかとの指摘がありました。臨床の現場や健診における留意点になりそうです。泉先生の論文はこども・思春期の性別違和への対応についての貴重な報告でした。

島根医学はJ-STAGEに掲載されるようになりました。奮って投稿いただきますようお願いいたします。

(S.O)

島根医学編集委員

浅野博雄， 貴谷 光， 児玉和夫， 大居慎治，
齋藤寛治， 細田眞司， 小阪真二， 田邊一明，
小林祥泰， 椎名浩昭， 古和久典

島根医学

令和8年2月1日発行

発行者 島根県医師会
松江市末次町
編集者 浅野博雄
発行所 松江市学園南2丁目3番11号
有限会社 松陽印刷所